

第15回全国消防救助シンポジウムの開催

国民保護・防災部参事官付

平成24年12月14日（金）10:30から16:00まで、東京都千代田区の日比谷公会堂において、「次なる大規模災害に立ち向かうために～これまでの災害から学び、発展した我が国の救助活動～」をテーマに、第15回全国消防救助シンポジウムが開催されました。

午前中は、岡崎消防庁長官の開会挨拶の後、「東日本大震災の教訓と研究最前線」と題し、東北大学災害科学国際研究所副所長・教授の今村文彦氏に講演をいただきました。



岡崎消防庁長官の開会挨拶



今村東北大学教授の講演

次に、平成24年5月24日に新潟県南魚沼市で発生した、「国道253号八箇峠トンネル内爆発事故」で活動された南魚沼市消防本部の小沢尚史氏及び新潟市消防局の本間勝嘉氏より、特別報告を行っていただきました。

午後は、各消防本部の代表者による6件の事例研究発表が行われました。

続いて行われた総合討論では、特別報告者、事例研究発表者に消防大学校の久保田真吾助教授をコメンテーターとして加え、「過去の災害現場から得た教訓を全国

の救助隊員とともに考える」をテーマとして活発な意見交換が行われました。



総合討論の様子

以上の通り、本シンポジウムでは、最近の大規模災害現場で救助隊員が直面した困難な課題や、そのような経験で学んだ教訓等についての情報共有が図られるとともに、全国の救助隊員間の交流を深めることに大いに貢献しました。その成果が救助行政の更なる発展の一助となることを期待します。

第15回全国消防救助シンポジウム プログラム

- 1 講演**
「東日本大震災の教訓と研究最前線」
今村 文彦（東北大学災害科学国際研究所 副所長・教授）
- 2 特別報告**
 - (1) 「『国道253号八箇峠トンネル内爆発事故』の対応について」
小沢 尚史（南魚沼市消防本部 警防課警防係長）
 - (2) 「八箇峠トンネル内爆発事故における救助活動報告」
本間 勝嘉（新潟市消防局 特別高度救助隊統括隊長）
- 3 事例研究発表**
 - (1) 「被災地消防本部の対応状況」
菊池 貴之（釜石大槌地区行政事務組合消防本部）
 - (2) 「関越自動車道高速バス事故における救助活動」
柴山 太郎（高崎市等広域消防局）
 - (3) 「崩落現場での活動の安全性（瓦礫の中での救助で学んだこと）」
村山 崇（東京消防庁）
 - (4) 「大規模災害時の有機的な捜索及び救助活動の考察」
中川 勝太（静岡市消防局）
 - (5) 「車両の絡む水難救助事案について」
小林 朋和（名古屋消防局）
 - (6) 「～レスキューネットワーク～」
澤 健一郎（大阪市消防局）
- 4 総合討論**
「過去の災害現場から得た教訓を全国の救助隊員とともに考える」
久保田 真吾（コメンテーター：消防庁消防大学校教務部助教授）
松永 陽一（司会：消防庁国民保護・防災部参事官補佐）

問い合わせ先

消防庁国民保護・防災部参事官付 中山
TEL: 03-5253-7507